

平成25年度  
”東オホーツクシーニックバイウェイ”  
活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成24年度活動報告への助言に対する状況報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウェイルート	報告者: 東オホーツクシーニックバイウェイルート 代表 高谷 弘志	2014/3/20
----------------------------	-----------------------------------	-----------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
オホーツク海・斜里岳・知床連山・田園風景を美しく見せる (美しい沿道の保全・啓蒙)	小清水原生花園、以久科原生花園の保全 (ネナシカズラの除去等)	-	-	-	-	-	-	回を重ねるごとに、地域の取り組みとして根づいてきたように感じられる。また、観光関係者、沿道住民の積極的な参画など、地域に密着した活動構成と運用体制についても徐々に構築されてきたと考えられる。 今後も、良好な沿道景観の形成をめざし、積極的活動を継続していくためにも、ルート内における類似した活動も多く見受けられることから、活動団体間の連絡等を綿密に行いながら、これらの活動を連携させることを念頭において取り組みを行っていきたい。「美しい沿道の保全・啓蒙」の方針を十分満たしているものと考えられる。	
	沿道の一斉清掃活動の実施	1	平成25年度網走湖クリーン作戦	(社)網走市観光協会	平成25年4月20日	約340人 ・主催者8名 ・一般参加332名			
		2	美しい景観保全のための清掃事業「道路清掃・春のごみゼロ運動」	清里町商工会	平成25年5月11日	160名 ・主催者9名 ・一般参加151名			
	沿道の植栽活動の実施	3	きよさと花みどりフェスタ2013	清里町花と緑と交流のまちづくり委員会	平成25年6月1日 ～ 平成25年9月30日	約300名 ・主催者15名 ・一般参加285名			
		4	ウトロ沿道に花を植えよう	しれとこウトロ・フォーラム21	平成25年6月21日	80名 ・主催者10名 ・一般参加70名			
	5	ガードレールの雪かきボランティア	しれとこウトロ・フォーラム21	平成26年2月13日	80名 ・主催者10名 ・一般参加70名				
鮮やかな四季の色彩を見せる (花の沿道の創出・連携や植物群生の保全)	網走湖周辺の水芭蕉の保全活動	-	-	-	-	-		事業予算等が少なかったことから、個別による団体活動が中心となった。 今後は、活動方針の見直しを図るとともに資金をあまり必要とせず実現できる取り組みを行っていきたい。	
	花を見る木道づくりの推進	6	美幌みどりの村で「桜祭り」	桜の名所を創る会	平成25年5月12日	30名 ・主催者9名 ・一般参加21名			
	東オホーツク花カレンダーの作成	-	-	-	-	-			
	東オホーツク花シンポジウムの実施	-	-	-	-	-			
ビューポイントを再発見・創出する	景観探しツアーの実施	-	-	-	-	-		各方針別の活動内容について、今年度はあまり活動が行われていない状況であるが、ガードレールの除雪実施については、オホーツク海の良好な景観を観ることができるため大変好評である。費用がかかることではないが、人的な力を必要とするため、今後は、他機関との連携を図りつつ継続的に実施したい。 シーニックデッキの維持管理に関しては、今年度から新たな設置箇所が加わったこともあるので、今後もよりよい状態で提供できるように、積極的な実施を心がける。 また、景観写真の更新時期にきていることや、定期的に更新しているマップの更新に備えた新たな資源発掘に向けた調査を実施した。	
	東オホーツクフォトコンテストの実施	-	-	-	-	-			
	ビューポイントの再発見及び創出とビューポイントマップづくり	7	地域資源・道路景観調査	NPO東オホーツクシーニックバイウェイサポートセンター	平成26年2月27日 ～ 平成26年3月28日	-			
	ビューポイントパークの拡充と保全	-	-	-	-	-	-		
		5	ガードレールの雪かきボランティア	しれとこウトロ・フォーラム21	平成26年2月13日	80名 ・主催者10名 ・一般参加70名			
	地域資源の洗い出しマップの作成とバス発掘ツアーの実施	-	-	-	-	-			
	8	シーニックデッキの維持管理	清里町商工会、NPO法人きよさと観光協会、上斜里フラワード推進協議会、清里町花と緑と交流のまちづくり委員会	平成25年4～6月	8名 ・主催者8名				
農・水・林・地域文化資源の発掘と連携	地域特産物の販売やPR活動	9	シーニックマルシェin網走	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成25年9月14日	約800名 ・主催者30名 ・一般参加770名	H - 1 シーニックマルシェの開催においては、野菜直売所イベントなどの開催により、生産者が直接お客様へ商品をPRできることが大きなメリットであり、売り上げ向上につながっているように考える。今回は、農産品だけではなく、東オホーツク内の生鮮品・加工品なども含まれているので、イベントを通して東オホーツクの魅力をPRできたように考える。 地元食材を使った「朝市食堂(感動朝市)」は、土・日に行われる模擬セリや海産物・農産物が格安で提供される即売会など、観光客だけでなく地元市民にも人気のイベントである。どのイベントにおいても、参加者なども多いことから、継続した活動と連携を積極的に行っていきたい。 地元野菜やご当地産品の販売などが盛んに行われ、東オホーツクの食の資源を活かす活動が定着しつつあるように考える。		
		9	シーニックマルシェin斜里	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成25年9月15日	約800名 ・主催者30名 ・一般参加770名			
		9	シーニックマルシェin清里	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成25年9月28日	約500名 ・主催者20名 ・一般参加480名			
		9	シーニックマルシェin美幌	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成25年9月29日	約500名 ・主催者20名 ・一般参加480名			
		10	網走感動朝市	(社)網走市観光協会	平成25年7月13日～9月29日 平成25年8月2日～8月18日	8,433人 ・主催者30名 ・一般参加8,403人			
		11	地元農家直産 新鮮野菜 秋の味覚・収穫祭!	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成25年9月8日	約500名 ・主催者8名 ・一般参加492名			
		12	知床S-1自慢まつりINウトロ2013	NPO法人知床斜里町観光協会	平成25年5月13日	約800名 ・主催者8名 ・一般参加792名			
	先住民族フォーラムの実施	-	-	-	-	-			
	植林事業等の実施	-	-	-	-	-			
	地域づくり	温泉情報マップの作成	7	地域資源・道路景観調査	NPO東オホーツクシーニックバイウェイサポートセンター	平成26年2月27日 ～ 平成26年3月28日	-		
		文化施設等との連携による文化発信	-	-	-	-	-		
		フットパスづくり	-	-	-	-	-		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウエイルート		報告者: 東オホーツクシーニックバイウエイルート 代表 高谷 弘志					2014/3/20	
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
楽しみの創出(東オホーツク文化・ライフの追求)	オホーツクバーボンの研究	-	-	-	-	-	-	各方針別の内容が特定な内容が多く、グランドフロント北海道in清里以外は、活動がほとんど行えない状況であった。今後は、活動方針の見直しを図るとともに資金をあまり必要とせず実現できる取り組みを行っていきたい。
	外国人交流の実施と誘致	-	-	-	-	-	-	
	オホーツクのオリジナル食メニューの研究	-	-	-	-	-	-	
		13	第2回グランドフロント北海道in清里	グランドフロント北海道in清里実行委員会(主催)特定非営利活動法人きよさと観光協会(主管)	平成25年6月29日 ～ 平成25年6月30日	150名 ・主催者50名 ・一般参加100名		
地域連携による地域情報の発信	活動団体向けニュースペーパーの発行	-	-	-	-	-	-	ホームページなどで紹介できるような取組みが多く、各エリアの地域情報や観光情報などを発信することができた。特に方針の内容とは別になるが、メールマガジンなどを活用して随時活動情報などの発信も行われていることから一定の成果が得られたものと考えられる。
	HPの創出と各町観光情報とのリンク	-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	
		14	東オホーツクシーニックバイウエイ活動報告	東オホーツクシーニックバイウエイ連携会議	平成26年3月(予定)	20名(予定) ・主催者8名 ・一般参加12名		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウェイルート	報告者: 東オホーツクシーニックバイウェイルート 代表 高谷 弘志	2014/3/20
----------------------------	-----------------------------------	-----------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
風を感じさせるマグネットポイントの創出	シーニックデッキの創出		15	ウトロポケットパーク	しれとこウトロ・フォーラム21	平成22年4月末～	約1,000名 ・主催者10名 ・一般参加990名	H - 2	シーニックデッキの設置は昨年度の8箇所に対し、小清水リリーパークに新たに設置し、9箇所となった。今後も継続的に実施を行ってきたい。	
			15	あばしりフロックス公園	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成25年7月上旬～9月上旬	約1,000名 ・主催者8名 ・一般参加992名			
			15	メルヘンの丘(女満別)	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成25年4月下旬～10月末頃	約8,000名 ・主催者8名 ・一般参加7,992名			
			15	季風クラブ(ウトロ)	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	通年	約1,000名 ・主催者8名 ・一般参加992名			
			15	コスモスロード(上斜里)	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成25年4月下旬～10月末頃	約5,000名 ・主催者8名 ・一般参加4,992名			
			15	コミット(水元町)	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成25年4月上旬～10月末頃	約2,000名 ・主催者8名 ・一般参加1992名			
			15	斜里岳山小屋清岳荘	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成25年6月中旬～10月上旬	約1,000名 ・主催者8名 ・一般参加992名			
			15	メーメーベーカー	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成23年8月上旬～	約1,000名 ・主催者8名 ・一般参加992名			
			15	小清水リリーパーク	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成25年7月中旬～9月上旬	約2,000名 ・主催者8名 ・一般参加1992名			
		流水茶屋、湖畔茶屋、山の茶屋の創出	-	-	-	-	-			
		サケ・サクラマスを見れる拠点の創出や清掃	-	-	-	-	-			
	観光振興	東オホーツクウォーキングルートの選定とフットパスづくり		16	あばしりガイドウォーク・ツアー	(社)網走市観光協会	平成25年5月1日～9月30日	80名 ・主催者8名 ・一般参加72名		四季を通じて変化に富んだ東オホーツクの自然(景観・環境)を活かした活動が行われた。特に「ガイドウォークツアー」は、自然豊かな東京農業大学キャンパスの外周5kmをフットパスコースとしたもので、自然景観や動植物について歩きながら学び、ガイド役を自然探索部の学生が解説、昼食は「学食」という新しい形のツアーであった。新たな観光体験型のメニューとなりえる活動など、今後の観光振興に期待の持てる取り組みが行われているので、今後の継続した活動と連携を積極的に図っていきたい。
				17	みどりのウォーキング	清里町花と緑と交流のまちづくり委員会	平成25年5月26日	60名 ・主催者10名 ・一般参加50名		
			ホーストレッキングルートの選定	-	-	-	-	-		
		各地毎の滞在メニューの創出・連携		18	春の日並牧場ウォーキング	美幌観光物産協会	平成25年5月19日	43名 ・主催者5名 ・一般参加38名		
19				神の子池かんじきウォーキング	東オホーツクガイド協会	平成26年2月9日	約100名 ・主催者6名 ・一般参加94名			
20				野の花観察ツアー	(社)網走市観光協会	平成25年4月23日	200名 ・主催者8名 ・一般参加192名			
21				流水ウォーク	NPO法人知床ナチュラルリスト協会	平成26年2月1日～3月31日	約500名 ・主催者8名 ・一般参加492名			
		22	知床ファンタジア2014	NPO法人知床斜里町観光協会、斜里町商工会	平成26年2月5日～3月12日	約40,000名 ・主催者8名 ・一般参加: 39,992名				
東オホーツク型観光の研究		馬やバルーン景観の研究	-	-	-	-				
		東オホーツクトラベルの研究	21	電動アシストサイクルレンタルによる域内観光動向の把握	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成25年7月～平成26年2月	約50名 ・主催者5名 ・一般参加45名	H - 3		
		東オホーツク観光塾の創出	-	-	-	-	-			
		東オホーツクエリアガイドの育成と仕組みづくり	16	あばしりガイドウォーク・ツアー	(社)網走市観光協会	平成25年5月1日～9月30日	80名 ・主催者8名 ・一般参加72名			

# 東オホーツクシーニックバイウェイ

例) TOKACHI Scenic Byway

活動名：「シーニックマルシェ」in網走、斜里、清里、美幌

【概要】 シーニックデッキの周知徹底のため、通常設置している数カ所から人の多く集まる箇所（道の駅3箇所、スーパー駐車場）にデッキを集約し、『シーニック・マルシェ』を開催。地元でとれた野菜や果物、地域特産品などの販売とともに、東オホーツクシーニックバイウェイ、オホーツクEV推進協議会の取り組みを紹介するパネル展示を行った。

【日時・場所】

- ・9月14日(日)：道の駅流水街道網走 参加者：770人
- ・9月27日(土)：道の駅うとろ・シリエトク 参加者：770人
- ・9月28日(日)：道の駅パパスランドさつつる 参加者：480人

【主催】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議

【参加団体】 網走市観光協会、小清水町観光協会、東藻琴観光協会、清里町商工会、きよさと観光協会、上斜里フラワーロード推進協議会、清里町花と緑と交流のまちづくり委員会、知床斜里町観光協会



左より網走、ウトロ、清里

(パネル展示の様子)→

# 東オホーツクシーニックバイウェイ

例) TOKACHI Scenic Byway

活動名：『シーニックデッキの設置及び補修・デッキ設置による効果診断』

【概要】 景観の良い駐車スペースのあるポイントに、シーニックデッキを設置し旅行者などがゆっくりと景色を眺め休憩する事により、東オホーツク地域全体の景観PRをはじめ地域との交流が進んで行く。また、農産物等の特産品販売等、コミュニティビジネスの創出の可能性も高まる。更に道路利用者のオアシスとして交通安全に寄与する。

【設置箇所】 ウトロポケットパーク、あばしりフロックス公園、メルヘンの丘（女満別）、季風クラブ（ウトロ）、コスモスロード（上斜里）、コミット（清里）、斜里岳山小屋清岳荘（清里）、メーカーカー（斜里）、小清水リリーパーク

【主催】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議

【参加人数】 約22,000人（9箇所合計）



昨年度より新設された小清水リリーパーク内のシーニックデッキ

# 東オホーツクシーニックバイウェイ

例) TOKACHI Scenic Byway

活動名：ガードレールの雪かきボランティア

【概要】冬の流氷景観はかけがえのない資源。しかし除雪の雪壁で車窓からは見えない。では、除雪しよう！ということで斜里町ウトロでは、ボランティアによるガードレール除雪をH19から毎年実施している。（2013ベストシーニックバイウェイズプロジェクト部門賞）

【期間】平成27年2月7日、24日

【実施場所】国道334号オシンコシンの滝～幌別橋付近の景観ポイント3～4箇所

【主催】しれとこ・ウトロフォーラム21、ウトロ自治会、知床斜里町観光協会ウトロ部会、網走開発建設部、東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議

【協力】：斜里建設工業（株）、（株）西村組

【参加人数】：160人（2月7日、24日合計）



除雪中



除雪後





4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウェイルート	報告者: 網走開発建設部	報告年月: 2014/3/20
----------------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	オホーツク海・斜里岳・知床連山・田園風景を美しく見せる (美しい沿道の保全・啓蒙)	「平成25年度網走湖クリーン作戦」活動への参加	平成25年4月20日	網走市・網走開発建設部	観光シーズン到来を迎えるにあたり、GWが始まる前に道東観光の拠点網走の玄関口である網走湖沿いの呼人探鳥遊歩道の入口(ミズバショウ群生地)から大曲の駐車場(サイクリングロード入口)までの清掃を行った。本活動には300人以上の市民が参加し、網走市役所及び網走開発建設部の職員も清掃に参加した。	これらの活動の多くは、年を経るにつれて、地域イベントとして地元住民等に認知されてきたように感じる。 今後とも当部を含めた行政機関の関係職員による積極的な参加体制を構築していきたい。	1
		美しい景観保全のための清掃事業「道路清掃・春のごみゼロ運動」への参加	平成25年5月11日	清里町	東オホーツクSBW活動団体の連携強化及び景観保全への意識啓蒙を目的として、清里町で参加している活動団体(自治体や女性団体など)を中心とした町民とともに、清里町役場の職員も参加し、町内の中心路線である道道摩周湖斜里線(上斜里～札弦)の沿道清掃と空き缶拾いを行った。		2
		ガードレールの雪かきボランティア	平成26年2月13日	斜里町、網走開発建設部	冬季のオホーツク海流氷の良好な景観を走行中の車両から楽しめるようにするため、斜里町及び網走開発建設部の関係職員も参加して、ガードレールの除雪を行った。		3
	鮮明な四季の色彩を見せる (花の沿道の創出・連携や植物群生の保全)	道路敷地内における自然植生法面の創出(きたはなプロジェクトによる植栽)活動への参加	平成25年10月31日	網走市・網走開発建設部	地元住民と行政機関との地域協働プロジェクトである「きたはなプロジェクト」の一環として、網走市役所及び網走開発建設部の関係職員も参加して、国道244号網走市北浜の法面等への自生種の移植及び種まきを実施した。		4
		VSP活動「ウトロ沿道に花を植えよう」への花苗等の提供	平成25年6月21日	網走開発建設部	網走開発建設部によるVSP(ボランティア・サポート・プログラム)の一環として、SBW活動団体「しれとこウトロフォーラム21」の主催により、道の駅「うとろ・シリエトク」周辺の一般国道334号沿線上での植栽活動が行われた。本取組は今年度で7回目を迎え、当日は天候にも恵まれ約80人が参加した。なお、花苗等については、網走開発建設部が提供した。		5
	ビューポイントを再発見・創出する	道路敷地内におけるシーニックデッキ設置への協力	平成26年2月5日 ～ 平成26年3月12日	オホーツク総合振興局、釧路自然環境事務所ウトロ自然保護官事務所、北見運輸支局、斜里町、網走開発建設部	網走開発建設部によるVSP(ボランティア・サポート・プログラム)の一環として、雄大な流水景観などを楽しむことができる流水展望広場と駐車場を期間限定で斜里町日の出地区に設置した。網走開発建設部では、チラシや看板等の設置を行った。		6
地域	農・水・林・地域文化資源の発掘と連携	シーニック・マルシェの開催協力	平成25年9月14日 ～ 平成25年9月29日	網走市・斜里町・清里町・網走開発建設部	本イベントの実施を通して、来場者に対してSBW活動のPRを行うとともに、活動団体相互の連携強化を図ることを目的に、「流水街道網走」、「ウトロ・シリエトク」、「パバstrandさつぷる」「コープ札幌美幌店」で、ルート内に点在しているシーニックデッキを1箇所に集め、地域の農水産品や工芸品等の販売を行った。なお、網走市役所、斜里町役場、清里町役場及び網走開発建設部として、道の駅の使用許可に関する協力やSBW紹介パネルの貸与等の支援を行った。	「シーニック・マルシェ」及び「知床S-1自慢まつりINウトロ2013」ともに、前年度より実施されたイベントであるが、実施団体より事前に相談を受けていたこともあり、行政機関として側面から支援することが出来た。次年度以降も開催予定があれば、積極的に協力していきたい。	7
		知床S-1自慢まつりINウトロ2013の開催協力	平成25年5月13日	斜里町・網走開発建設部	SBWルート団体である知床斜里町観光協会の主催により、道の駅「うとろ・シリエトク」構内で本イベントを開催した。斜里町役場及び網走開発建設部の取組として、道路敷地の使用許可などのイベントの運営協力を行った。		8
	シーニックパネル展の実施	平成25年7月13日 ～ 平成25年9月15日	網走開発建設部	観光PRの一環として「オホーツクまるごと市」「女満別空港・オホーツク紋別空港」「はな・てんと」「まちなか交流プラザ」でシーニックバイウェイパネル展を実施した。	9		
	地域連携による地域情報の発信	東オホーツク・知床エリア「ヒヤリ・ハットマップ」の作成	四半期毎に作成	オホーツク総合振興局、釧路自然環境事務所ウトロ自然保護官事務所、北見運輸支局、斜里町、網走開発建設部	道路利用者に対する車両走行時の注意喚起を促すことを目的に、東オホーツク・知床エリアの「路線連絡会議」構成団体による取組として、当該エリア内の「ヒヤリ・ハットマップ」をに作成し、SBWルート内の道の駅や女満別空港付近のレンタカー窓口、観光施設等での配布を行った。なお、「路線連絡会議」構成団体には、東オホーツクSBWの行政連絡会議も参加しており、網走開発建設部が中心となって、「ヒヤリ・ハットマップ」を作成した。		10
観光		「知床ファンタジア2014」に係る運営協力及びHP上への情報掲載	平成26年2月5日 ～ 平成26年3月12日	斜里町、網走開発建設部	SBWルート団体である知床斜里町観光協会の主催により、本イベントを開催予定である。なお、斜里町では、イベントの運営協力や役場のHP上に本イベント情報のバナーを張る等の支援活動を行っている。網走開発建設部においても、地域イベント情報としてHP上で部内職員への紹介を行った。		

5. 平成23年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウエイルート	報告者: 東オホーツクシーニックバイウエイルート 代表 高谷 弘志	報告年月: 2014/3/20
----------------------------	-----------------------------------	-----------------

平成25年度活動報告への助言	平成25年度 状況報告	備考
<p>シーニックバイウエイ北海道の持続的かつ発展的な推進を図るため、多様なツール、手法を駆使した情報発信やPR活動を戦略的に行い、ブランドの形成、地域への浸透、海外を含めた他地域との交流促進に努めるとともに、地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化に取り組まれない。</p>	<p>シーニックデッキの周知徹底を目的に、デッキを集約し、地元産の食材・地域特産品の販売、東オホーツクの取り組みを紹介するパネル展を行った「シーニック・マルシェ」については、継続の結果、域内農商工連携の促進、シーニックの理念・活動への理解の促進、参加した域内農商工者への一定の利益供与が可能な場としての定着といった効果の発現が見受けられることから、今年度は実施箇所を3箇所増加した。今後はさらなる参加農商工者の増加や域外観光客の動員増加に向けたPRを重点としながら、継続的に実施していきたいと考える。</p> <p>また、域外来場客の域内滞留時間の増加と購買意欲増進の工夫も必要と考えており、それらに資するため、マルシェの開催に併せ、無料の電動アシスト自転車貸し出しコーナーを併設し、立ち寄った観光客に対して近郊の隠れた地域資源を巡る自転車観光ルートの提示と参加を促した。アンケート調査を実施しており、「寄り道」に対する観光客のニーズ、本取り組みの課題、効果を把握し、今後の体験メニューの改善等に活用していきたい。</p>	

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウエイルート	報告者: 網走開発建設部	報告年月: 2014/3/20
----------------------------	--------------	-----------------

平成25年度活動報告への助言	平成25年度 状況報告	備考
<p>シーニックバイウエイ北海道の持続的かつ発展的な推進を図るため、多様なツール、手法を駆使した情報発信やPR活動を戦略的に行い、ブランドの形成、地域への浸透、海外を含めた他地域との交流促進に努めるとともに、地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化に取り組まれない。</p>	<p>女満別空港やオホーツク紋別空港でのルート紹介パネル展に加え、地域イベント開催時に合わせてパネル展を開催し、来訪者やイベント参加者に対してPRを行ったほか、各種地域イベントに積極的に参加することで、ルート団体との連携を深めることが出来た。また、ルート紹介シールを道の駅に貼付ことで連携を図った。</p> <p>次年度以降についても、東オホーツクシーニックバイウエイの認知度を向上させる取組を継続するとともに、外国人訪問者への適切な情報提供の検討を行いたい。</p>	